

立命館経済學

第36卷 第3号

1987年8月

内 容

論 説

- 新しい企業理論のパラダイムに向けて……………小 野 進 1
 —日本企業の企業行動の特質の概念化への準備
- 三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と
 社会政策および中間層政策の展開 (七) ……………川 本 和 良 58
- 発展途上国の経済成長と世界計量マクロモデル……………本 田 豊 78
- 代替的な数量モデル研究の経過と展望……………大 西 広 102
- Towards A Global History of Political
 Economy in Economic Thought……………James F. Becker 128

研 究

- 財政投融资概念の検討……………梅 原 英 治 155
- 共同研究室……………186

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第36巻・第1号

論 説

貨幣・貨幣資本・現実資本の運動法則……………小 牧 聖 徳
——最近日本資本主義の動向——

1880年代の階級構成 (1) ……………後 藤 靖

地域経済をめぐる理論的諸問題……………杉 野 罔 明

Natural Resources Evaluation and the
Labour Theory of Value ……………Stanislaw Sitnicki

研 究

資本の破壊と貨幣・信用恐慌……………竹 味 能 成

紹 介

Richard F. Kahn 『Keynes 「一般理論」

への道程』(4)……………磯 部 智 也

学位論文審査報告

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第36巻・第2号

論 説

自由主義価値規範への2つの対応としての

「ポスト・モダン」と新自由主義……………大 西 広

1880年代の階級構成 (2) ……………後 藤 靖

三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と

社会政策および中間層政策の展開 (六) ……………川 本 和 良

私的所有の発展とアジア的生産様式の崩壊過程……………杉 野 罔 明

アジア的生産様式に関する理論的研究 (四)

研 究

“構造転換”への西ドイツ労働組合の対応……………布 川 日 佐 史

——DGB “雇用重視の先見的構造政策”構想の検討を中心に

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会